

## 用語解説

### アスファルトコンクリート塊再資源化率

建築・建設工事に伴い発生するアスファルトコンクリート塊が再資源化及び再使用される割合。

### アセットマネジメント

資産管理。公共施設の損傷・劣化等を将来にわたり把握することにより、最も費用対効果の高い維持管理を行う考え方のこと。

#### 1. 5車線の道路整備手法

2車線の道路改良にこだわらず、地域の事情に則し、待避所設置や突角是正などの局部的な改良及び1車線の道路改良などを含めた道路整備の方法。

### 環境影響評価

環境アセスメント。環境に著しい影響を与える恐れのある行為・意志決定にあたり、あらかじめ環境への影響について適正に調査、予想又は評価を行い、その結果に基づき、環境の保全について適正に配慮しようとするもの。

### 環境基準

人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準。

大気、水、土壌、騒音をどの程度に保つことを目標に施策を実施していくのかという目標を定めたもの。人の健康等を維持するための最低限度としてではなく、より積極的に維持されることが望ましい目標。

### 緩衝緑地

大気汚染、騒音、振動等の公害防止、緩和等を図る緑地。

公害、災害発生源地域と住居地域、商業地域等との分離遮断することが必要なところに設ける。

### 救急救命センター

3次医療施設。

大分市のアルメイダ病院及び久留米市久留米大学病院。

### 緊急輸送道路

大規模な地震が起きた場合の避難・救助をはじめ、物資の供給、諸施設の復旧等広範な応急対策活動を広域的に実施するための道路。

県庁と主要都市等を相互に結ぶ高速道路や一般国道及び高速 IC、空港、港湾等物流拠点へのアクセス道路などを緊急輸送道路のなかでも優先的に対策を実施するルートと定めている。

### 建設発生土 有効利用率

土砂利用量（建設発生土＋土質改良土＋再生コンクリート砂＋購入土）に対する建設発生土＋土質改良土＋再生コンクリート砂の利用率。

#### 建設発生木材 再資源化・縮減率

建設発生木材の排出量に対する再資源化、縮減及び再使用された量の比率。  
(再使用量 + 再生利用量 + 熱回収量 + 焼却による減量化量) / 排出量

#### 建設リサイクル法

資源の有効な利用及び廃棄物の適正な処理を確保するための建設工事に係る特定の建設資材の分別解体等及び再資源化等に関する法律。

#### 広域公園

市町村の区域を越える広域のレクリエーション需要を充足するための公園。

#### コスト構造改革

公共工事のすべてのプロセスをコストの観点から見直す取り組み。

#### 災害時要援護者施設

老人ホームや保育園などのこと。  
避難などに際し、援護者が必要となると考えられる施設

#### 死傷事故率

一定区間を走行した場合に事故に遭う確率を示したもので (死傷事故件数 / 自動車走行台キロ) で表される。

#### 住区基幹公園

市街地の街区内の人、近隣の人の利用を目的とした公園や徒歩圏内で利用できる公園。  
(街区公園 標準 0.25 ha)(地区公園 標準 4 ha) などがある。

#### 渋滞ポイント

一定基準を超える渋滞が発生するポイント。例えば人口密集地域内の一般道路では、最大渋滞長 1 km 以上、又は最大通過時間 10 分以上の渋滞が発生するポイント。

#### 耐震基準を満たしている住宅

昭和 56 年の改正建築基準法 (新耐震基準) に沿って建設された住宅のこと。

#### 耐震強化岸壁

大規模な地震が発生した場合に、被災直後の緊急物資及び避難者の海上輸送を確保するために、通常のものより耐震性を強化した岸壁のこと。

#### 電子入札

「参加資格の確認」、「指名通知の確認」、「入札書の提出」、「落札結果の確認」といった入札業務をインターネットを利用して行うことが可能となるシステム。入札参加者は自社に居ながらにして入札に参加することができるようになる。

## 電線地中化

地上にはりめぐらされた電線類を、道路の下に埋めた共同溝などに収めること。

電柱や電線類がなくなることで、信号機や道路標識が見やすくなり交通の安全性が向上する、歩道が広く使える、都市景観が向上する、台風等の災害時に、電柱が倒れる危険がなくなるなどのメリットがある。

## 特殊公園

動植物公園、歴史公園、風致公園、墓園等

## 特定地区公園

都市計画区域外の農山漁村地域の生活環境の向上に資する公園。

地区公園相当規模。

## 都市基幹公園

都市住民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等の利用に供することを目的とした公園。

(総合公園 標準10～50ha)、(運動公園 標準5～75ha)がある

## 都市緑地

都市の自然的環境の保全、改善、景観の向上等を目的とした緑地。

## 日常生活の中心となる都市

県内を14圏域に分けて設定(大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、国東市、由布市、豊後大野市、玖珠町)

## パークアンドライド

最寄り駅まで自動車で行き、駅に近接した駐車場に駐車し、公共交通機関(主に鉄道やバス)に乗り換えて、勤務先まで通勤する方法。

クルマを使う時間が減るので、環境にやさしく、また、渋滞の緩和に繋がる。

## ハザードマップ

災害時に、地域の方々が安全に避難をするために必要となる情報(想定浸水深等、避難所の位置及び一覧、緊急連絡先、避難時の心得等)を記載した地図。

## バリアフリー化

高齢者・障害者等が社会生活をしていく上で障害(バリア)となるものを除去(フリー)すること。物理的、社会的、制度、心理的な障壁、情報面での障害などすべての障害を除去するという考え方。

## VE(バリューエンジニアリング)

最低のライフサイクルコストで、必要な機能を確実に達成するために、製品やサービスの機能的研究に注ぐ組織的努力。

目的物の機能を低下させずにコストを低減する又は同等のコストで機能を向上させるための技術。

## BOD

川などの水のよごれの程度をはかる尺度。

水中のよごれ(有機物)は、微生物の作用で分解され、この過程で使われる酸素の量を、BOD(Biochemical Oxygen Demand:生物化学的酸素要求量)といい、単位はmg/l(百万分の一)であらわす。

例えば生活雑排水のBODはおおよそ200 mg/l、汚染の少ない山間部の清流などでは0.5 mg/l以下。

## ヒートアイランド

都市では、道路やビルなど、大部分がアスファルトや、コンクリートで覆われているため、熱をためこみやすく、また、自動車やクーラーなどから排出される熱の量も多いことなどが原因で、気温がまわりの地域に比べて高くなり、ちょうど「熱の島(英語でヒートアイランド)」のようになること。

## フレートトン

貨物運賃計算の基礎となる貨物の単位で、運賃トンともいう。

容積は 1.133 立方メートル(40 立方フィート)、重量は 1,000 キログラムをもって 1 トンとし、容積または重量のいずれか大なる方をもって計算することを原則とする。

## ユニバーサルデザイン

年齢、性別、身体、国籍など、人々が持つ様々な特性や違いを認め合い、はじめから、できるだけすべての人が利用しやすい、すべての人に配慮した、環境、建物・施設、製品等のデザインをしようとする考え方。

## ライフサイクルコスト

公共施設(道路、橋等)等にかかる生涯コストのこと。企画・設計に始まり、竣工、運用を経て、寿命がきて解体処分するまでの全期間に要する費用のこと。初期建設費であるイニシャルコストと、補修費、更新費などのランニングコストにより構成される。

## リサイクル認定製品

製造過程で生じた廃棄物、あるいは一度使用され不要となった物(廃棄物)をそのままに、又は加工した後、原材料として使用して製造されたもののうち「大分県リサイクル製品利用推進要綱」に基づき認定されたもの。